チア・にっぽん　CHEA Japan

NEWS LETTER　148 号 2014 年 11 月

〒189 0013 東京都東村山市栄町 1-5-4-103
TEL 042-318-1807　FAX 03-6862-8648
http://www.cheajapan.com

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。ー主の御告げーそれはわざわいではなくて、平安を与える計画でありあなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」

（エレミヤ 29：11）

ハレルヤ！皆さん、お元気ですか。チア・マガジン４１号が完成しましたのでお届けします。今回も、各原稿に、私自身、励まされながら、編集させていただきました。神さまから、「私（神）の計画には無駄がない。「わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い」（イザヤ　55:9 ）「将来と希望を与えるため」（エレミヤ　２９：１１）と、毎回、励まされている思いで読みました。

連載中の「起業家夫妻が学んだヨブの忍耐」の増山律子さんとは、今回の最初の原稿ができてから、４回あまりミーティングを、重ねました。もう一つの連載の三浦光世さんは、以前、４年越しでドキュメンタリー番組取材に打ち込みました。今、２年越しで学び直す期間が与えられ、取材の復習、増強、新たな発見の機会となり、「主の山に備えあり」と、一層、深く教えられている思いです。内外のチャーチ＆ホームスクーラーの先輩、後輩の皆さんの原稿も、示唆にとび、教えられます。是非、お読みください。（※２ページ目に続く）

特別ニュース　～　三浦光世さん、天に召されて

「写真：三浦綾子記念文学館提供」

今号、印刷所に入稿直前、チアの皆さんを心から応援くださった三浦光世さん（９０）が、昨夜、救急病院で亡くなったとの電話連絡が秘書の山路多美枝さんから入り絶句してしまいました。肺血症とのことです。私自身の人生の模範のお一人でもあり、多くの助けや励ましをいただき、とても寂しく、悲しいです。光世さんは、実は、ガンを患って、、、ということは昨年春から伺ってはいました。でも、ご本人は元気で、腕立て伏せを行い続け、「大丈夫！」とのことで、進行もしていないとのことでした。この件は、御本人の希望で伏せていました。また、先々週も、健康状態が悪い旨を聞き、今回のマガジンの最後の原稿は、「主の山に備えあり　ー三浦光世さんの人生　第三回」は、とりわけ、心を注ぎ、時間をかけ、最後まで、集中しながら、そして、自分自身が教えられながら、書かせていただいた原稿です。最後は、マガジン原稿のチェックも難しく、最終チェックは、僕に任せてくれていました。でも、このように急に天に召されるとは思ってもいませんでした。下記の原稿にある通り、

光世さんの後押しで出版に至った、「したきりすずめのクリスマス」の第二版の刊行の吉報をお知らせして、喜んでもらっていたばかりでした。綾子さんを助け、作家・三浦綾子を支え、イエス様の福音を多くの人々に伝え、これまでの多大な貢献をくださった光世さんに慎んで、深い感謝と敬意を表します。

チアの皆さんを、心から愛してくださったこと、NHK の取材時からずっと応援くださったこと、私自身が信仰を持ち、また学ばせていただく上で、大きな助けをしてくださったことを、改めて、感謝し、また、今後、皆さんと一緒に、ますます光世さんの良き模範を活かしていけるよう祈ります。召天式等を通しても、神さまの祝福が大いに現されますように、心から祈ります。

上記の通り、今、印刷直前です。この後、光世さん召天のニュースを知る前の記事を、そのまま続けますね。

（※１ページから続く） 白馬セミナー、間近に迫ってきました。ティーン世代が増え、また、LIT の人気も年々高まり、LIT は、既に、満席、ウェイティング受付中です。また、全国各地からの皆さんと、今年も、白馬セミナーを開催できること、神さまのあわれみと祝福を思います。このチャンスを逃されることなく、ご参加いただけますように。　また、ご参加難しい皆さんは、ぜひ、白馬セミナーに、神さまの特別な守りと油注ぎがありますように、全ての参加者が特別な祝福を受けますように、お祈りいただけたら幸いです。

皆さまの上に、ますますの祝福がありますように祈っています。

第二版、１１月末に刊行！クリスマス・プレゼントにどうぞ！　（表紙）

「お待たせしました！三浦綾子さんの『したきりすずめのクリスマス』第二版、発行！

三浦綾子さんの「したきりすずめのクリスマス」第二版が、いよいよ１１月末に発行されます。「お待たせしました！」という感じです。同作品は、2008 年に、第一版が出版されたあと、早々と、売り切れとなりました。でも、全カラー８０ページの素敵な絵本でもあり、多くの皆さんのご要望をいただきながらも、チアの経済の関係で、なかなか出版できませんでした。ある方は、「私はチアの書籍は、全部、持っていますが、唯一、持っていないのが、『したきりすずめのクリスマス』です。買おうと思ったら、売り切れて、１冊も無かったのです。今回は早く申し込みます」とおっしゃってくれました。そのようなご要望に応えてくださり、神さま、今回、新しく扉を開いてくださったこと、本当に感謝で、喜びです。

同作品は、子どもたちの魂、日本人の魂へと三浦綾子さんが、渾身の思いを込めて、書かれた作品です。市民クリスマ

第八子花香ちゃん（七女）誕生！
白馬にて生後三週間でデビュー予定！
（誕生直後、お母さんの山川真紀子さんと共に、高松市にて。白馬には、家族十人で今年も参加予定！）

誕生３日後の花香ちゃん

ス用に依頼され、子ども好きの綾子さんが、熱心に書かれ、評判となったものでした。

NHK での番組取材中に、当時の台本をみつけ、綾子さんは私に手渡してくれました。心に残っていた台本で、チアの出版活動が進む中で、正式に、光世さんのご許可をいただくこととなります。

三浦綾子全集には収められていますが、単行本化には、文学作品としては、唯一、三浦家から、大手出版社への許可が下りていない段階でした。チアのことを応援してくださっている三浦光世さん・綾子さんご夫妻です。祈りと応援の中で、チアの皆さんのために残されていた作品と、思っています。

日本人なら誰もが知っている「舌切り雀」にのせて、福音がストレートに語られます。綾子さんが、最も伝えたいメッセージをまとめた、珠玉の作品と思います。今年、北海道では、『氷点』５０周年ということで、様々な催し物が企画され、三浦綾子さんを通して、スポットが当てられました。先月、NHK では、「拝啓　三浦綾子様」が放送されました。

絵を担当してくれたみなみななみさんから、『その中で「光あるうちに～三浦綾子･その日々」の映像が何回も差し込まれていて、ああ、この映像のこちら側に稲葉さんがいらっしゃったんだなあ――と思って見ていました。綾子さんは一生の目標です』とメールを送ってくれました。

『氷点』は、原罪とキリストの赦しに焦点をあて、視聴率は、いつも４０％を超え、放送日は、街やお風呂屋さんに人がいなくなると言われる大ブームを起こした作品ですね。くしくも５０周年の今年、ぜひ、今年のクリスマスプレゼント始め、教育や伝道に、第二版を用いていただければと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。

裁判官さんも、文科省の官僚さんも

最近、日本の裁判官の方とホームスクーリングについて話す機会がありました。裁判官さんは、「ホームスクーリングなど、聞いたことが無かったです。学校は楽しい思い出だったし、のほほんと過ごしていたんですけど、だめでしょうか」とおっしゃられます。「僕も学校は楽しかったです。良い友人に恵まれたし、良き体験でした。」「では、なぜ、ホームスクーリングなのですか」「それがベストの教育方法だからです。聖書が示す通りです」一緒におられた法曹関係の方が、大きくうなずかれました。「僕

の父も妹も、妻の両親も教師です。最初はびっくりしたと思いますが、今は、子ども（孫）たちの成長も見つつ、皆、応援してくれています。２日前も、義理の父が、カンパだと言って、チアに１万円送ってくれました」

１０分ほどで、ミーティングは終わる予定でしたが、その後、１時間半、「ホームスクーリング」について、次々と積極的に、質問をしてくださいました。とても、感謝でした。

「学校やほかの人に任せるのと違い、たくさんの犠牲が必要で、大変なことです。でも、それだけに、やはりベストの教育だと確信しています。子どもたちは犠牲を払えば、その分、愛情も、伝えたいメッセージも伝わります。今年は、我が家のホームスクーリングも１５年め、段々こつもわかってきました。仕事の関係で、我が家の住まいはアメリカですが、日本への出張も多く、子どもたちはできるだけ、日本に同行させています」「仕事の時とか、子どもたちは？」「一緒のことが多いです。チアやアメリカ系の映画制作ということで、理解を得られやすいという職場環境もあります。でも、日本の企業も、ずいぶん、協力的です。たとえば、日本のディズニー映画社との会議の時、事前に了解を得て、その時、４才の末の子、ジョセフを連れていきました。出席者は、先方は５人で、こちらが２人と子ども一人。ディズニーのぬいぐるみやおもちゃ等、プレゼントしてくれ、ジョセフは喜びました。２時間のミーティングを終えて、ジョセフがテーブルの端っこで、ずっと静かに一人で遊んでいて、最後、一言、「ミーティング、終わったの？」「終わったよ」と言うだけだったので、ディズニーの皆さんと爆笑となり、みんな真剣に感心してくれました。その商談（映画『ソウル・サーファー』の全国試写会展開）は、こちらの願い通り、まとまりました。ディズニーと言っても、アメリカではなく、日本のディズニー映画社ですね。日本の企業もずいぶん、変わってきてますよ」「そうですか。では、サーカスの子どもたちみたいな生活なわけですね」「（笑）ま、サーカスとは違うとは思うけど、そう言える面もあるかもしれないですね。子どもは良きも悪しきも、周囲から影響を受けていきます。親が犠牲を払って、しっかり接していけばいくほど、聖書が言う通り、子どもに、良き影響が与えられ、責任を果たしていけると確信しています。また、結果もそうなってきているので、３００万人を超えるムーブメントとなり、日本でも拡がってきているのです」「そうですか」とのことでした。

感じたことは、文科省の官僚の方でも、法曹界の皆さんであっても、しっかり祈り、神さまからの知恵と聖書にある確信と信仰をもって、論理的に話せば、多くの皆さんが理解してくださることです。そのことをますます確信しています。

LIT　喜んで働く！
（チア・サマーキャンプにて毎朝、トイレ磨き　　仙台にて）

白馬セミナーの新傾向：ティーン単独参加増から考えること

白馬セミナーに、多くの皆さん、ご申し込みくださり、心から感謝です。貴重な時間や経済の犠牲を払って、ご参加いただけることをとてもうれしく思っています。冒頭にお伝えしました最近の傾向、保護者は欠席で、ティーンだけ参加の皆さんが、最近増えているということについて、皆

１６００個のウォーター・バルーンを必死に制作
（参加者と神さまに喜ばれるために、奮闘中！）

さんに相談させていただきますね。単純に、それは、ダメですということではなく、経済の問題始め､様々な事情があることを理解し､ティーンだけの参加も、誰か、代わりの責任者を見つけるという条件で､受け入れています。今後も、その予定です。でも、一緒に、考えてもらうには良きテーマではと思い、ご提案です。

「３つの視点」から、３つの宿泊企画（コンベンション・夏キャンプ、そして白馬）のうち、１つでもいいので、ご参加くださいと薦めたいです。１つめの視点は､「ティーン時代こそ、親が一緒に時間を過ごさないと、もったいない！」というポイントです。二つめは､「揺れずに、山のように立ち続けるためにも、油断せず、過信せず、学習を継続し、ますます強く伸びてほしい」という点。そして、最後のポイントは､「自己犠牲とミッション｣。この世の学校制度のように１８才を過ぎれば､『チアには、お世話になりました。お陰様で、立派に育ちました。さようなら』というケースもあります。でも、孫や、後進の皆さん、霊的ムーブメントのために、つまり、自分のためではないかもしれないけど、他者のために、皆さんの神さまからの使命、ミニストリーの一つとして関わり続け、バックアップし、参加するということからでも貢献し続けていただければ感謝です。激戦地に召されたのだから、お孫さんたちも含め、続く人々を助けてくだされば感謝です！というポイントからです。

誤解の無いように先に、お伝えしますが、今回、ティーンの子どもたちと、白馬に来ないとだめですと言いたいのではありません(^^)。いろいろと事情があるのだと理解しています。でも、ティーンは、ティーンだけで参加という流れが大きくなり、ティーンはチアや他者に任せていいんだと流れていく前に、一歩、考えてくださったら、それだけでうれしいのです。

保護者会で、この話しをした後で、４家族が親御さんも参加してくださることになりました。また、ある方は参加できないものの「わかりました。３人の上の子がホームスクーリングしてないので、その世話が必要ということを理由に、今までは、宿泊企画は親子で参

加はしていませんでした。でも来年は、３つの内、どれかには親である私も一緒に参加します」と話してくださいました。バンザイ、ハレルヤです。

３つの視点について詳細を話す前に、現況をお知らせしますね。

現況：　LIT は満席！ただし、ティーン単独参加も増加傾向

LIT は既に満席でウェイティングリストです。ユースミニストリーも、人気です。チアの歩みも１５年になり、ティーン世代が、年々、増えていて感謝です。また、多くの皆さんのご協力の中で､LIT がティーンからも､親御さんからも、広く評価と信頼を得る歩みができていることだと思い、これも感謝に思います。また、全国のティーン同士の貴重な交わりの場ともなり、子どもたちも楽しみにしていて、とても感謝ではあります。ただし、ティーン単独参加増傾向が表れていました。

視点１：ティーンこそ、親との時間が必要！

この傾向を娘のエミリ（１７）にすると、すぐに笑顔で「ティーンこそ、親との時間が必要だよ！」と元気な答えが返ってきました。

聖書では、親が、時間や労力の犠牲を払うのは、子どもが小さい時で、ティーンは手放し、誰かに委ねていいとは、書いていません。
また、この２年、一緒に過ごすことを努めてきた、私とエミリとの体験からも、感謝を込めて、言えることです。エミリとは、アメリカでも日本でも、長期出張も含めて、できる限り、時間を過ごす方向に導かれています。仕事も手伝ってもらっています。マガジンやニュースレターの写真の選択やビデオ映像の制作、企画のプログラムや、英語のビジネスレターチェック、Tシャツデザインほか、意見を聞きながら、一緒に仕事をしました。

過ごす時間が増えていく中でわかったことは、自分が、エミリの気持ちを、わかっていなかった。ずいぶん、コミュニケーションが不足

第４回チア・オリンピック　２３５名が明日に向かって躍動！
（東京　台東リバーサイド陸上競技場にて）

ホームスクーラー伝道チーム・朝日の富士山山頂へ

していたんだなということです。受け止め方に、ギャップが大きいことがわかりました。しっかりやってきたつもりが、全然、そのようにはできてなかったり、受け止めてもらえてなかったことにも気づきました。そのギャップに、驚きました。時間をかけて、一緒に過ごし、時に、ぶつかりながらも、直言し、共にイエス様を見上げようとして、初めて、気づくことができたコミュニケーションギャップでした。たまに、「いやだなー」と思うこともありますが、もし、この２年がなく、過ごしていたら、大きな損をするところだったなーと実感しています。

小さい時に、親がそばにいる必要性は、この世でも認める、当たり前のことだと思います。でも、この世の流れではない、「ティーンの時こそ、親との時間が必要」というのも、本質なのでは……と思います。それは、たとえば白馬に親子で来て、ずっと親子で話しているという意味ではありません。もちろん、ティーン同士とか、むしろ、離れている時間が多いかもしれません。でも、一緒に旅をして、犠牲を払って、行動している、その姿勢そのものに、ティーンの子どもたちは、親の愛と自分への関心を感じると思います。意識下でも、無意識下でも。

ティーンで子どもを離すのは、もったいない
－　直面し続ける必要

ホームスクーリングは、「父母を敬いなさい」という聖書のことばが土台の一つであり、親への心を向け、密接な絆を築きやすい環境にあると思います。でも、この世の教えと同じように、「ティーンになったら、子どもは離すのが普通」になっていたら、せっかくの良い環境を活かせません。この世と同じように、ティーンの子どもたちとの時間も関係も影響力も、そして絆も弱まり、失っていくリスクがあると思います。関係が多少、ぎくしゃくしても、嫌でも、「一緒に時間を過ごす」ことの大いなるメリットを身に染みて感じ、心から、薦めます。

この話しをしたところ、何人かのお母さんが言いました。「話しを聞いて涙が出ました。神さまは私の必要を知っておられると。ティーンの娘との関係が難しいです。でも、逃げずに、あきらめずに、関わり、直面していくことを示されました」「私も難しい時があります。いな

いとホッとする時があります。数か月、プロジェクトで家を離れた時には、これでしばらくゆっくりできると喜んでいました。でも、それでは、ダメなんだ。もっと顔を向け、時間も質も費やし、関わり続ける必要のあることを示されました」

２番目の視点：　油断せず、学習の継続を！

２番目の視点。「揺れずに、山のように立ち続けるためにも、油断せず、過信せず、学習を継続し、ますます強くいてほしい」という点。ホームスクーリングも４－５年続けると、要領ほか、基本情報は、わかってくると思います。セミナー等に出かけての新たな情報収集は、既に、もういいかな、、、という思いもよぎるかもしれません。でもこの１５年の歩みを振り返る時、かなりリーダー的な存在で、安定しているように見えたホームスクーリング家族が、いつしか、確信が揺らぎ、最後は、苦しむというケースもありました。そうした家庭の中には、「この情報や理解を得て、決断していたら、苦しんだりしなくて良かったのに、、、」というケース等もあります。いろいろな事情があるので、簡単には言えませんが、やはり、人は、「心は燃えても肉体は弱い」（マルコ 14：38）わけです。大丈夫、自分は十分、理解したかな、、、というところで、油断大敵です。高ぶりということではないと思いますが、ダメージが出るからです。「高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ」(箴言 16:18) とあります。私自身は、繰り返し、聖書を確認し、セミナーの内容を心に刻む必要がある者です。セミナー後、マガジンやニュースレター、あるいは、書籍の編集、校正等で、何度も何度も、メッセージに触れる機会が与えられ、その度に、「すっかり、忘れていたなー」「あれ、自分はわかってなかったなー」「新しく発見できたなー」「さあ、実践してみよう」といった機会を、あわれみで与えられ、恵まれてきました。自分は弱い者だから、何度も聞く、機会を与えてくださっているのだと思います。そのようにあわれまれた者として、もう大丈夫と思わず、集まって、耳を傾け、互いに励まし合おうではありませんかと、呼びかけたい気持ちでいっぱいです。聖書が「いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか」（ヘブル１０：２５）という通りです。弱い時にこそ、強くなれます。聖書が言う通りです。「主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである」と言われたのです。……私が弱いときにこそ、私は強いからです」(2 コリント 12:9,10)

３つ目の視点　「自己犠牲とミッション」

ティーンと一緒に参加してほしい３つめのポイントは、「自己犠牲とミッション」ということです。「この世の学校制度のように１８才を過ぎれば、『チアには、お世話になりました。お陰様で、立派に育ちました。さようなら』という選択もあります。でも、孫や、後進の皆さん、霊的ムーブメントのために、つまり、自分のためではないかもしれないけど、他者のために、皆さんの神さまからの使命、ミニストリーの一つとして関わり続け、バックアップし、参加するということからでも貢献し続けていただければ感謝です。激戦地に召されたのだから、お孫さんたちも含め、続く人々を助けてくだされば感謝です」というポイントです。

アメリカのチア・カリフォルニア等を見ていると、おじいちゃん、おばあちゃんの世代、ホームスクーラーを既に世に送り出した世代の参加者やボランティアが多いです。幸い日本にも、いわゆる卒業した世代の保護者の皆さんでずっと参加くださったり、応援くださっているご家族がずいぶん、与えられてきています。

時には、「子どもがお世話になりました。さようなら」となぜか、ここだけは、世の学校制度と同じように、卒業されていくケースもあります。ある方は、「ホームスクーリングに卒業はない」とおっしゃってくれています。親子関係がある限り、ホームスクーリングは続き、一層の成長をめざし、その意味で参加くださっている方で感謝です。お孫さんのために、、、とのご参加の方もいます。

求めよ！さらば与えられん！
クワガタのミラクル君といのち君たちからの教訓

導きに従って、様々な進路で良いと思います。まだメジャーとは言えないチャーチ＆ホームスクーリングを、必死に展開され、実を結んだ皆さんが、子どもが１８歳過ぎたということで、そのまま「さよなら」では、後に続く世代も初期の世代に近い苦しみを、同じように味わう現実があります。

これは、ある種、他者のためになります。どのような形でも、何か、重荷を持ち続けてくだされば、後に続く世代は、さらに前進できることになります。そして、私たちが究極的に目指している、「伝道・世界宣教」へ、チャーチ＆ホームスクーリングという、まだまだ小さな、でも、強力なムーブメントが、宣教の深いインパクトをもたらしていくことになるであろうと思っています。

この話しが終わったら、保護者会のお母さんの一人が「事情があり、チアともさよならしなければならないのかなーとも感じて、それでいいか、神さまに祈って参加しました。でも、今日、神さまが祈りに答えてくれたと思います。ちょうど、教会でも教育について話す会が開かれたりし始めました。これからもよろしくお願いします」とのことでした。ハレルヤ！

無理はしないで、
祈りでの支援や参加もあります

それで、１年に一度、あるいは、２度、あるいは３度の機会、子どもたちがティーンエージャー以上になっても、ご参加くだされば、あるいは、特別に関わりくだされば幸いに思っています。もちろん、様々な事情、経済、仕事、他のミニストリーほか、いろいろとあることは十分、理解しています。いつもお伝えしていますが、無理はしないでください。祈られた結果、今回、不参加です、あるいはティーンの子どもだけ送りますという皆さんは、堂々と、私は祈りで参加しますと、おっしゃってください。私たちも、次回以降、導かれる時、よろしく、今回は、その分、深い祈りを持って、支えてください、別の場所でティーンの子どもたちとの時間をさらに持ってください……と、お願いをしようと、思っています。ティーンとさらに親が関わる、そこが、今回のポイントです。

クワガタのミラクル君といのち君から
の教訓　～　あきらめないで、
信仰を持って、神さまに求め続ける

我が家は、相変わらず、山あり、谷ありですが、神さまにあって、とても恵まれた日々を送っています。最近、ジョセフ（６）のクワガタ・カブトムシ作戦で、「あきらめないで、神さまに祈り、求め続けることを教えられました。

７月に、友達の堀井大使君の家のそばでカブト虫が、初めて、４０匹ほど捕れたと連絡ありました。遊びに行ったジョセフは３匹もらいました。ジョセフは大喜び。チア・オフィスの近くの中央公園にもいるらしいと情報を調べ、捕獲に行きました。「東村山と言っても、東京だしなー。いないでしょう」と思いました。でも、ジョセフは心から信じて、祈り求めていました。公園のレンジャーの方に聞くと「います。でも今年は、極端に少ないみたい。私もまだ１匹しか見ていません」とのことでした。

僕は、小学生の頃、クワガタ捕りが得意でしたが、でも、東京の公園の捕獲スポットはわからず、その方に、「クヌギ」の木とか、教えてもらいました。感謝して、公園事務所を離れると、若い女性レンジャーのＨさんが息せき切って追いかけてきてくれ、「クヌギやコナラの見分け方のお話が聞こえたので、これ、図鑑です」と図鑑のコピーを持ってきてくれました。エミリと僕は、感動し、「日本の公務員は何て優秀なんだ！走って、追いかけてくるなんて。アメリカなら絶対、考えられない！」と驚き、賛美しました。かつて僕はお役所仕事の批判のドキュメンタリーとか、制作していましたが、アメリカの公務員はもっとひどく、１時間ぐらい列に並んでも、威張った感じで「ネクスト（次）！」とあごで呼ぶ感じなのです。

感動しながら、翌日早朝、クヌギ林で、ライダーキックすると、コクワガタが２匹、落ちてきました。そして、さらに、ジョセフがカブト虫、３匹をみつけ、神さまを讃えました。その後、猪苗代湖とかでも３匹捕れ、その後、中央公園でも捕れ、合計、カブトムシ８匹とコクワガタ８匹を飼うことになり、ものすごく神さまを讃えました。レンジャーさんは、今年はいないとおっしゃってたので。

１０月中旬。ジョセフのたっての希望で、さらに、捕りにいくことにしました。「さすがにいないよ」「いるかもしれないよー。祈っていったら」とジョセフはニコニコして、いたずらっぽく笑うのでした。「うーん。１０月だからね。東京の公園だしね」それで行ってみると、ほしかったコクワガタの雄がいたのでした。「奇蹟だよ！これは、イエス様からの特別プレゼントだよ」それで、名前は、「ミラクルくん」と名付けました。

翌日、ジョセフは、また行きたいと言いました。「うーん。今度は無理だと思うよ。奇蹟あるけど、１０月半ばだし、東京だし、無理だよ」「そうかなー。いるかもしれないよー。僕は、いると思うよー」ジョセフは、また、ニコニコ、いたずらっぽく笑うのでした。その日、クヌギの木には、いませんでした。帰り道、「あ、クワガタ！」ジョセフが声をあげました。元気なコクワガタの雄が、つかまえてほしいとばかりに道を歩いていて、ジョセフの目に留まったのでした。「すごーい！」「だからいるかもしれないって言ったでしょう」「信じられない。ダディ、祈ったけど、信じなかったんだけど」「ダディ、信じなかったでしょう？僕は、信じて求めたよ」「そうかー」この日、捕まえたクワガタを、ジョセフは「いのちくん」と名付けました。「ミラクルくん」と「いのちくん」。クワガタ・カブトムシ作戦で、「あきらめないで、神さまに祈り、求め続けること」を教えられました。

エミリは、他のホームスクーラー仲間たちと加わった静岡での２週間の路傍伝道、とても祝福されて、帰ってきました。富士山登頂にも成功し、充実した日々だったようです。直後に受けた、アメリカの大学入試のセンター試験の結果もよく、あとは小論文ほか、準備中です。お祈りいただければ幸いです。

様々な失敗や困難もありますが、それを許される神さまの偉大な、そして確かなご計画を思います。悔い改めつつ、イエス様に焦点を合わせ、感謝と賛美の中に、歩んで行ければと思っています。白馬セミナーも含め、どうぞ、祝福をお祈りいただければ感謝です。皆さまへの祝福を祈ります。

感謝しつつ

稲葉　寛夫

ホームスクーリングが成功する８つの理由
デボラ・ベル博士　（2014 年度　白馬セミナー　基調講演者）

我が家の4人の子どもたちが、ホームスクーリングを修了し、巣立った後、私は大学に再び通い始め、教育心理学を専攻して博士号を取得しました。子供たちが、最も効果的に勉強する方法、環境について研究したかったのです。ホームスクーリングされているお父さん、お母さんたちにとって助けになる情報ですから。研究する中で、神様に本当に驚かせられました！研究の結果を一言で言えば、こういう事なのです。

子供たちが学ぶのにベストな環境はどのような環境か、という調査・研究に基づき、最高の学校を建てるとすれば･･･それは、すなわち「家族でホームスクーリングをすること」に行きつくのです。素晴らしいニュースではないですか？ そしてとても理にかなっていると思いませんか？　子どもが学ぶのに最適な環境とは、神様がもうすでに創造されていた環境でした。「家庭」です。　子供たちがもっとも良く学ぶことのできる環境とは以下のような環境です。

1．教師と、共に学ぶ仲間が自分に対し、愛情と、情熱と犠牲をもって、心を注いでくれると確信できる環境。
2．関心のある事をどこまでも、探求できる環境。（喜び学習法）
3．学習内容や方法、ペースについて自ら責任を持って選択できる環境。
4．・・・・・・・・・・・・
5．・・・・・・・・・・・・

以下、8つまでの条件が続きます。続きと詳細は、白馬セミナー基調講演を、お楽しみに！

※各講師陣の講演内容は、10 ページ以降に掲載しています。

★早期申込特典！！★
プレゼント

11 月 7 日（金）までにお申込＆入金済みの大人の方に、聖書に基づく教科書
⇒聖書7・聖書10・聖書11（各3,024円）
⇒りか1、りか2（各2,376円）
⇒「ちょっぴりホームスクーリングを考えてます？」「チャーチ＆ホームスクーリング入門」「カウンセリングのためのクィックバイブル」（各1,728円）
⇒「レガシー」（2,036円）
⇒ DVD 聖書、マガジン10冊（1冊540円）の中から、いずれか1冊プレゼント！大人2名分で各教師用ガイドも OK!

➡ワンちゃん、預かり可能です。
（事前にお問い合わせください）

仙台バス
（大型バン）運行

■ 11 月 20 日（木）朝６時　明泉学園　発
■ 11 月 22 日（土）午後２時　グリーンプラザ白馬発

明泉学園への前日宿泊（無料）可能です（寝袋持参の可能性あり）。バス代無料（申し込み人数によって等、運行しない可能性もあります）。
詳細は、チア事務局にお問い合わせください。

東京 / 大阪チャーターバス
※完全予約制

一人でも多くの方が参加できるよう、チアからの精一杯の応援です！※先着順

●東京往復
（大人 / 中高生 ¥7,000　小学生 / 幼児 ¥6,000）
11/20（木）東京：午前 8 時発　ホテル：午後 2 時着
11/22（土）ホテル：午後1時発　東京：午後 6 時着

●大阪往復
（大人 / 中高生 ¥9,500　小学生 / 幼児 ¥8,000）
11/20（木）大阪：午前7時発　ホテル：午後 2 時着
11/22（土）ホテル：午後1時半発　大阪：午後7時半着
※ 15 名以上集まれば運行

ホテル送迎バス
（長野・白馬町・南小谷・白馬乗鞍）
※完全予約制

〈行き〉
●長野駅　12:10 発（ホテルまで約 90 分）
●南小谷駅　11:50 発　13:15 発　14:20 発（20 分）
●白馬町駅　12:50 発
●白馬乗鞍駅　12:20 発　14:50 発

〈帰り〉 ホテル出発時間
●長野駅行き　13:20 発
●南小谷駅行き　13:50 発
●白馬町駅行き　14:50 発

※送迎バスご利用の方は 11 月 14 日（金）までに下記の申込用紙あるいは E メールでお申込みください。

格安チャーターバス（先着 50 名）＆ ホテル送迎バス申込書
Fax 03-6862-8648　E メール office@cheajapan.com

代表者お名前（　　）乗車人数（　　）名　携帯番号（　　）

ご希望のバスに〇をつけてください。　東京バス　大阪バス　ホテル送迎バス（※ ↓）

※ホテル送迎バスの方は、ご希望の場所と時間をご記入ください。行き（　　）帰り（　　）
➡ホテル送迎バスは上記の時間帯以外でも可能性はありますので、ご相談・ご連絡ください。

一般の交通手段のご案内

所在地：ホテルグリーンプラザ白馬
長野県北安曇郡小谷村千国乙 12860-1

※東京から新幹線（¥7,680 ～）
行き（11/20）
A. 東京駅発（あさま 513 号） 9:52 ➡長野駅着 11:26
B. 東京駅発（あさま 515 号）10:24 ➡長野駅着 11:50
帰り（11/22）
ホテル発 13:20 ➡ 長野駅
長野駅発（あさま 532 号）15:01 ➡ 東京駅着 16:28
※白馬駅への出発は 14：50（ホテル）

電車

■ 新宿駅発（中央本線特急 3 時間 39 分）ー 南小谷駅（片道 ¥7,780~）
■ 名古屋駅（中央本線特急 3 時間 45 分）— 南小谷駅（片道 ¥6,810~）
■ 大阪駅（北陸本線特急 4 時間 18 分）ー 糸魚川駅 経由（片道 ¥11,110~）
■ 各方面から新幹線＋路線電車　ー 長野駅（送迎バス 90 分）ー ホテル

高速バス

■ 新宿駅西口発 8:00 ⇒ 白馬町駅着 12:44（片道 ¥4,850~/ 往復 ¥ 8,700~）
■ 新宿西口発口発 7:10 (7:50) ⇒ 長野駅東口着 11:30 (11:32)　(大人 ¥ 2,500 です！)
■ 新潟駅万代口発 7:30 ⇒長野駅東口着 11:10
■ 大阪・京都・神戸方面 ー長野駅（片道 ¥5,750~/ 往復 ¥10,250~）

その他にも、格安チケット、早割チケットなどもあるようです。購入方法などの情報が必要な方は、チア・オフィスまでご連絡ください。

自動車

■ 中央自動車道経由・長野自動車道安曇野 IC から国道 148 号線約 60km 約 70 分
■ 上信越自動車道長野 IC よりオリンピック道路・国道 148 号線経由約 60km 約 90 分
■ 北陸自動車道経由 糸魚川 IC から国道 148 号線約 40 分　（※ ホテル駐車場完備）

☆ LIT 満席です。ウェイティング受付中。
あきらめずにお申込みください。

☆ 好評・ユースセッション、今年も開催！（１３歳以上）

昨年度、１３歳以上のティーンを対象とした夜のプログラム、重厚な時間で、とても好評でした。今年のサマーキャンプでも、第二回のユースセッションは大好評でした。 新しい出会い、実践的で、剛球のメッセージ！ こぞって参加ください。

第９回　チア・にっぽん杯 読書感想文大会 募集中！

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。チア書籍は、多角度から、ホームスクーリングの理解にもつながり、霊的に励まされます。三浦綾子作品も文章力を養っていく上で、大きな助けになっていくと思います。今年もたくさんのご応募、お待ちしています。

◆対象作品：チア書籍（どれでも OK)、あるいは三浦綾子作品（どれでも OK)、
「したきりすずめのクリスマス」「ソウル・サーファー」「イエスさまと十字架」
「明泉学園の聖書絵本」も OK
◆部門：（１）幼稚園の部（200 ～ 600 字）　（２）小学生の部（400 ～ 1600 字）
（３）中高生の部（800 ～ 2000 字）　（４）一般の部（800 ～ 2000 字）
◆締切：11 月 12 日（水）
◆発表・授賞式：11 月 21 日（木）夜７時　白馬セミナー会場（予定）
◆送り先：〒 189-0013　東京都東村山市栄町 1-5-4-103　チア・にっぽん事務局　「読書感想文係」
（※メールでも受け付けています → office@cheajapan.com）

第８回「グランプリ！大会」開催！

自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、白馬セミナーで開催します！ 白馬でもキットを販売しますので、２日目夜までに完成させての参加も Ok です（500 円)。参加資格は、今年度制作のレースカーです。

昨年に引き続き、今回も「スピード部門」「美術部門」の２部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は 11 月７日まで。郵送先はチア事務局へ（白馬参加の皆様はご持参ください)。作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。

レースカーキットは、誰でも作れます。形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチ必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こぞってご参加ください！　工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ！

現在、キットの申込を受付中です。（数に限りがあります）ご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、希望個数を明記の上、メール（office@cheajapan.com)、または FAX（03-6862-8648）でお申込みください。

昨年の白馬セミナーでのレースの様子

白馬セミナー講演抄録（五十音順・敬称略）

【主講師　基調講演予定（Keynote）】

デボラ・ベル (Dr. Debra Bell) 博士

■「ホームスクーリングが成功する 8 つの理由 (8 Reasons Kids Learn Best At Home)」

子どもたちの教育にベストな環境とは？長年の研究に基づいて分析すると、「家庭」ということになります。なぜ、ホームスクーリングで育てられた子供たちは成功するのかーその理由はなにかを見ていきます。そのポイントを意識化し、さらに強化し、家庭から、未来の成功へと通じる扉を開ける秘訣について、伝えます。

If we started with what the research tells us about how kids learn best and built a school from the ground up – we' d build a home! Learn the critical factors that help explain why homeschooled kids succeed – and what you can do to keep the windows of wonder open in your house.

【主講師　分科会予定　（Workshops）】

デボラ・ベル (Dr. Debra Bell) 博士

■「学びへの情熱を育む、ホームスクーリング（Cultivating a Love for Learning in Our Homes）」

学びへの情熱は、神が子供たちに与えた祝福です。それは私たちの人生を豊かにし、生きる意味を見いださせ、創造主を探し求めさせます。この分科会では、子どもたちの自然な好奇心を良い方向へ導き、新しい発見への喜びを促すための、聖書に基づいた知恵を分かち合います。そして、学習意欲や情熱を育むための大切なポイントを、日々のホームスクーリングにどのように活かすのか、成長に役立つ実践的なアプローチを提案します。

A love for learning is a blessing God has for His children--one that is meant to enrich our lives, give us purpose and draw us into a quest to know the Creator. This workshop will give you a biblical foundation for safeguarding a child' s natural curiosity and joy of discovery; and suggest ways to approach homeschooling that keeps this important element alive and growing in your child.

■「のんびり屋さんに学ぶ意欲を持たせる（Motivating the Reluctant Learner）」

学ぶことの楽しさを体験させ、不得意な分野をも習得させるのに役立つと研究で立証された 10 の戦略をご紹介します。また同時に、お母さんと子どもの間の衝突や、イライラを少なくする秘訣もお教えします。

10 proven strategies that kindle a love for learning in a child and help him master areas of difficulty; at the same time, reduce conflict and frustration for mom and kid.

■「自主的に勉強する子を育てる（Raising an Independent Learner）」

子供たちに、生涯にわたっていつも新しいことを学び、自ら考える人になって欲しい、そう思いませんか？それならば、親が子どもの勉強を全部みなければ、という考えは捨てて、子供たちに自分の勉強を任せはじめましょう。実用的で、お金のかからない、自学自習のためのステップをご紹介します。これは、ホームスクールする親が燃え尽き症候群になることも防ぎます。

Raising an Independent Learner: Do you want a lifelong learner who initiates studies on his own? Then let go of the wheel and start giving your kids responsibility for their education. Here are practical, inexpensive steps that will encourage children to pursue their own learning, and prevent parent burnout as well.

■「疲れたお母さんたちへ：あがない主は生きておられます（Hope for Weary Moms: There is a Redeemer）」

ホームスクーリングをする中で、主はあがない

主として共にいて下さいます。私たちは多くの失敗に、弱さ、苛立ちを覚えますが、希望を持ってください。主はホームスクーリングを通して、ご自分を更に深く、はっきりと私たちに示してくださいます。
God is working redemptively through homeschooling. Here is the hope we have for our failures, weaknesses and frustrations. God is at work to make Himself known to you more deeply and fully.

■「高校も、ホームスクーリングで！（Standing Strong through High School）」
ティーンの時代も、ホームスクーリングを一貫して行うことが、どんなに素晴らしい実を結ぶか、高校時代のホームスクールがいかに重要になってくるか、また両親にとっての素晴らしい祝福となるか、についてお話しします。
Why staying the course through the teen years can be the most fruitful and important years of homeschooling; as well as, the most rewarding for Mom and Dad.
My Child in How "Fearfully and Wonderfully" God Created Them）」

ジョイス・イノウエ（Joyce Inouye）

■「『注意力の散漫』をふせぐ “Delivered From Distraction”」
ホームスクールをする親ならだれでも、子どもはわずかなことで、集中できず、気が散りやすいことを知っています。そんなとき、親までイライラして子どもの気持ちを傷つけることは避け、むしろ集中しやすいように助けてあげたいものです。この分科会では、多動性を疑われる子どもたち、気が散りやすく注意力が散漫になりがちな子どもたち、また一人で学習を進めることが困難な子どもたちの手助けになる情報をより深く、見つめていきたいと思います。日々のホームスクーリングにすぐ取り入れられる、様々な研究に基づいた実践的な方法を学んでいきましょう。集中力を発揮させ、やる気を促進し、注意力の拡散を防ぎ、助けることができます。
As homeschooling parents, we know children can easily become distracted. We want to help our children, and not wound them in our frustrations. This workshop will go deeper with information to help you with a child who is active, highly distracted, inattentive, and who has difficulties working independently. Come to learn researched based, applicable strategies that you can begin your next homeschooling day. Learn ways to engage your children, promote motivation, and help them from being distracted.

■「一人一人の学習のニーズにあわせたホームスクーリング（How to Homeschool Your Child With Unique Learning Challenges?）」
この分科会では、ホームスクーリング環境を子どもたちのニーズに合わせて改善する具体的なガイドラインを見ていきます。個々に違う学習のニーズに適応しながら、しかもしっかりと学習をすすめる方法を学びましょう。ホームスクーリングでは、スケジュールの組み方によって、学習を活かすこともできれば、無駄にしてしまうこともできます。子どもの生活態度を改善するのに役立つ、「ほめること」と、「賞品」の力。正しいことを、正しいタイミングで教えることの重要性ほか、学習力促進のための聖書に基づく、素晴らしき秘訣を分かち合います！
This workshop will give you specific guidelines on how to transform the homeschooling environment to better meet the needs of your children. You will learn how to accommodate for a child’s unique learning challenges, yet keep them from falling. Learn how homeschooling schedules can enhance or diminish your teaching. Discover the power of shaping behavior with reinforcements. See the importance of what you teach and when. Amazing tips that work and promote learning!

■「子どものアイデンティティはどこから？（Where Is Your Child’s Identity Coming From?）」
私たち親はどうしたら、子どもが自分の行動や

能力でなく、神の愛の中にアイデンティティを築く手助けができるのでしょう？子どものマインドを真理に向けるにはどうしたらいいのでしょうか？聖書には、私たちの思考が私たちの人格におおいに影響するとあります（箴言 23:7）。子どもたちが自分自身をどう見ているかが、行動や選択、人生のモチベーションにまで影響してくるのです。子どもたちの主にあるアイデンティティを強化する方法を、一緒に学びましょう。

How can we build our child’s identity in their belovedness, versus what they do and how well they perform? How can we transform their mind to what is true? The Bible says, how we think greatly affects who we are (Proverbs 23:7). How they see themselves, will affect how they act, the choices they make, and their motivation in life. Come to this workshop to discover how to empower our children’s identities.

■「学習障害となると、どんな気持ちになるのか（What It Feels Like to Be Learning Disabled）」

学習面で特別なチャレンジを持っている子どもに共感する最も優れた方法は、彼らの弱さを自分も体験してみることです。この分科会に参加した皆さんには、学習障害、聴覚や視覚における問題、書くことの困難さを体験していただこうと思います。さらに、落ち着きがない子、過度に活発な子、非常に注意力が散漫な子について、皆さんが理解できるようお手伝いしたいと思います。

One of the greatest ways to empathize with your children with unique learning challenges is by experiencing these weaknesses. Joyce will be allowing all those who attend this seminar to become Learning Disabled, with Auditory, Visual, and Writing weaknesses. She will also attempt to help you understand those who are fidgety, hyperactive and highly distracted.

■「祝福―神の力が、子どもの心に起動する（Blessing Your Children To Activate God Within Them）」

この分科会では、子供たちを祝福の方法を、わかりやすく説明していきます。神の祝福は、子どもの心に、神の無条件の愛、そして自分に与えられた主の計画を理解する力を起させます。聖書に基づいた祝福、親からの高い評価を受けた子どもたちは、神様の愛、また親の愛の中に、深くしっかりと根を張ることができるのです。子どもの心を親に向け、親の心を子に向けさせることを通して、家族の関係に良い変化がもたらされます。

Blessing Your Children To Activate God Within Them. Using mnemonics, you will learn how to bless your children. Blessings your children activates their understanding of God’s unconditional love and their individual purposes for His Kingdom come. Biblically based, and highly valued, see how deeply it roots your children in their belovedness to God and to you. This workshop can transform your family as it brings the hearts of children to their parents, and the hearts of parents even more fully to their children.

【基調講演】

ピリポ・ブローマン

■「ホームスクーラーの将来」

子どもたちの将来について、クリスチャンの親は何を望むべきでしょうか。

イエス様の弟子になればこの世界では、貧しいこと、飢えること、泣くこと、人々から憎まれることなどがあります。しかし、天の報いは、大きいのです。これば､イエス様が私たちに教えた「幸い」です。しかし、この世で、富、豊かな生活、楽しみ、人からの誉れなどを求めれば、その人の将来は、あわれなものです。(ルカ 6:20 ～ 26)

15 年ほど前からﾎｰﾑｽｸｰﾘﾝｸﾞを受けた多くの若者が今大人になるところです。このなかには、自分の将来をまだ決めていない人も多いようです。

親の模範と指導についてお話いたします（マタイ 16:24，25）

【分科会】

■「経済実験（慶應義塾大学）」（予約制）

赤林　英夫・大垣　昌夫

■「あっという間の１１年」
阿部俊之・寿子
　ホームスクーリングを始めて１１年目。小学生だった子供達も大学生、高校生、中学生になりました。そんなわが家の現状をお話しします。大学生になってもホームスクーリングは続きます。悩みもいろいろ、恵みもいろいろ。（寿子）
学校教育のメリット、デメリットを公立中学校教師の立場からお話します。（俊之）

■　「試練との遭遇」
伊澤　聡一郎＆恵美
　2011 年 4 月から始まった我が家の HS。現在子供は中 1・小 3・小 1・3 歳。これまで順調（？）と思えた歩みでしたが 3 年を過ぎ想定もしなかった困難、試練が、ここ半年、波のように打ち寄せております。ひとつひとつの試練とそれに対する我が家の取り組みをお分かちできればと思います。（尚、分科会でお話しする内容のうち、子ども達らの個人情報が含まれるところについては録音等をご遠慮頂くことがありますがご容赦下さい !）また時間が残れば我が家の HS で使っているテキスト、勉強の進め方などもご紹介いたします。（これは録音可 !!（笑））

■「面接試験を親子で突破する方法」（親、教師、知人、ティーン、どなたでも参加 OK）
稲葉　寛夫
　大学、専門学校、そして就職と、面接試験の比重は年々、高まっています。学校歴や知識を問うペーパー試験の結果等より、人物、人格を深く見て、実力を知りたいということでしょう。
　聖書とチャーチ＆ホームスクーリングで備えてきたチャーチ＆ホームスクーラーが、今後、キリストの福音を効果的に伝道し、インパクトを与えていくためにも、面接試験への実力を養い、備えておく必要があります。養ってきた福音、良きものを伝えるためには、秘訣もあり、練習や備えも必要です。マスコミ各社も、６－８段階の試験の中（その中の５－６段階は面接）で、約１万人から数十人に絞られていきます。僕も、その突破を目指し、NHK、毎日新聞社、共同通信、電通ほかマスコミ各社の有志の先輩方に２年間、無償で、特訓を受けてきました。そこで得た面接対策の基本、さらにその後、聖書やミニストリー、実社会での展開の中で教えられた要素を含め、神さまの栄光を現すための実践的な備えの方法、親子での準備の仕方、させ方等を伝えます。
　（希望者があれば、模擬面接をしての訓練も OK です。履歴書・願書を、ご持参ください）

■「小論文試験を親子で突破する方法」（親、教師、知人、ティーン、どなたでも参加 OK）
稲葉　寛夫
　大学、専門学校、そして就職と、小論文試験の比重も、年々、高まっています。学校歴や知識を問う試験の成績等より、洞察力、知力、人格、表現力を深く見て、人間としての実力を知りたいということでしょう。
　聖書とチャーチ＆ホームスクーリングで備えてきたチャーチ＆ホームスクーラーが、今後、キリストの福音を効果的に伝道し、インパクトを与えていくためにも、小論文試験への実力を養い、備えておく必要があります。そこには、秘訣もあり、練習や備えも必要です。マスコミ各社も、小論文は、比重が高く、僕も、その突破を目指し、TV 各社、毎日新聞社、電通ほかマスコミ各社の有志の先輩方に２年間、無償での特訓を受けてきました。そこで得た小論文対策の基本、さらにその後、聖書やミニストリー、実社会での展開の中で教えられた要素を含め、神さまの栄光を現すための実践的な備えの方法、親子での準備の仕方、させ方等を伝えます。
　（希望者があれば、小論文を用いての訓練も OK です。履歴書・願書・小論文「題目：なぜ、私は、この仕事を目指すのか」もしくは「変化」（NHK の過去問題）を、ご持参ください）

■「チャーチ＆ホームスクーリング　－　必ず聞かれる 20 の質問」
稲葉　寛夫
　「チャーチ＆ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」

「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週２時間からできるＣ＆Ｈって？」。この 14 年の全国各地でのセミナーで多かったＱ＆Ａをベースに８時間コースを 50 分に短縮した、一度は必修のコース！

■「ホームスクーリングパパ、ジョンが日々愛娘たちに伝えたいこと」
ヴァンフェロー・ジョン＆和美
　我が子よ、主を喜び祝うことこそ、主にあってあなたたちを強くするのです
The Joy a child feels from their parents is the source of strength that produces fruit in home-schooling
（両親との関わりの中で子供たちが主にある喜びを感じることこそ、ホームスクーリングの豊かな実を結ぶ成功のかぎだと思うのです）
　岐阜県在住、夫（宣教師）妻（塾経営）そして娘２人（１０歳と４歳）のヴァンフェロー家が、本格的にホームスクーリングを始めたのは、長女は小学２年生の時。今年で３年目を迎える我が家だが、以下の点から自然に夫がメインのホームスクーリングパパに。
・ホームスクーリングの知識が、妻より豊富
・英語メインの教材の利用
・宣教師という立場から時間の調整がしやすい
・妻のように感情的にならない
妻は、当初、反対も、調べてみて、実施を決断。日本語力や課外活動担当で夫婦二人三脚のホームスクーリング生活が始まった。しかし、実践してみて、お互いに、新たな発見も….。このセッションでは主にホームスクーリングパパ、ジョンが考えたホームスクーリングの在り方と実践してみての洞察、教えられていることを皆さんと分かち合いたいと思います。

■「創造主の技術【クリエイターテクノロジー】」
宇佐神　実
　科学者たちは、自然の中にすばらしい技術が隠されているのを知っていて、それらの技術を盛んに研究し、私たちの暮らしに取り入れています。それらの技術はネイチャーテクノロジー（自然の技術）と呼ばれ、多くの人が自然は素晴らしいと讃えています。この分科会では、これらの技術をいくつか紹介し、これらが自然にできたのではなく創造主の英知によって造られたのだからすばらしいことを考えます。

■「羽のある四つ足で歩き回る生き物」
宇佐神　実
　タイトルの生き物は、レビ記 11 章 20 節に出てきますが、聖書学者はこれは昆虫だと理解し、聖書を批判する人たちは、「昆虫は 6 本脚で歩き回るのだから聖書は基本的な科学も間違えている」と批判します。本当に聖書は間違っているのでしょうか。それとも批判する人たちが間違っているのでしょうか。この講演では、被造物に関するいくつかの批判とそれに対する創造論の立場からの回答を提示します。

■「ホームスクールの真の目標」
太田　仁一
　子どもをキリストへの信仰に導くことがホームスクールの目標です。ホームスクールは、子どもを教育する手段として、聖書を用いることではありません。
　全てのことに代えて、心を尽くし、知恵を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして神である主を愛する子どもにすることができるよう導くことが目標です。
　主が私たちに子どもを授け、親をしてくださったのは、意味があることです。主から預かった子を親の権利を行使して主の弟子として導いていきましょう。真の目標を再確認し、その道のりの上での大切なポイントを分かち合います

■「ホームスクーリングと弟子訓練」
梶山　直樹＆志津
　今年、私達の教会ではＹＷＡＭの宣教師の先生方に毎月弟子訓練セミナーをして頂き、私達も家族で学んできました。祈りの生活、父なる神様の愛、信仰の土台、神の国の経済原則、関係作り、権利の放棄…等々。

その中で気付かされてきた事は、このようなことを私達は日々の子育て・ホームスクーリングで実践的に学ぶ恵みに預かっていた！と言う事です。ホームスクーリングは弟子訓練。私達の５人の子どもとの 11 年目のチャーチ＆ホームスクーリングの様子を交えながら、神の国の支配をもたらすために弟子訓練で学んでいる事をお分かちしたいと思います。

■「英語カリキュラム GrapeSEED　の効果的な学習」
グレープシティ（毛利康夫）

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これが GrapeSEED の基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEED は様々なコンポーネンツから構成されています。今回のセッションでは、現在 GrapeSEED に取り組まれている方々により効果的な学習への取り組み方、日頃の学習に関する質疑応答を行います。すでに GrapeSEED に取り組まれている方だけではなくこれから取り組みたいと思われている方々もご参加ください。

【チア事務局より】初めての方も参加 OK ！　GS は、普通はスクール対象ですが、チア・メンバーの皆さんには、特別に個人対応をしています（入門コース CD ２枚組（1000 円＋送料）を購入いただけると、GS スタート OK です。チア事務局にお申し込みください）。

■「交わりの中で育てられるホームスクール」
竿代　健

長男が小学生になるタイミングで正式にスタートしたホームスクールは、感謝なことに４年目に突入しました。

ホームスクールを始めた時から、神様が備えてくださった、兵庫県や関西のホームスクーラーとの交わりに励まされてここまでくることができました。そこで、他のホームスクーラーとの交流から学び、教えられたことをお分かちします。また、交流の実践を紹介しながら、ホームスクーラー同士の交流の良い点、気を付けること、企画をする時に押さえておくべきポイントをまとめたいと思います。

■「C&H、私の受けた経験から」
サムエル・ブローマン

・今の社会において、ホームスクーリング・チャーチスクールの必要性と重視すべきポイント
・自分が頂いたチャーチスクール Education がどれだけ自分の救い・励ましになったか
・17 歳のときのハプニング
・結婚してますます強く感じる「神から頂いたわが子の教育。。。絶対ホームスクーリング」

■「矢筒の矢 - ヨシュア世代の育成」
スミス・グレッグ＆とも子

HS ８年目、息子たちは高二と中三です。さまざまな経緯を通りましたが、二人の息子たちそれぞれが、主なる神様と出会い、それぞれに主のために生きていく決心をした今、ホームスクールで本当によかったと心から感謝しています。

チャーチ＆ホームスクーリングは我が子をこの世の汚染から守るためという消極的、防衛的な目的だけではなく、御国の次世代リーダーたちを育てる、という素晴らしい使命を持っているものだと信じます。

家族四人で、時間を分担し、それぞれがお伝えしたいことを分ち合います。ともに賛美し祈る時間も少し持てたらと思います。

■「わが家のホームスクーリング」
高倉　新喜＆　聡子

私たち夫婦は 2007 年の白馬セミナーに参加してホームスクーリングをすることを決心し、現在 8 才の長女と 4 才の長男のホームスクーリングをしています。ホームスクーリングには大変なこともありますが、主の恵みと平安があると思います。日々、マラキ書 4 章 6 節と申命記 6 章 4 － 7 節のみことばを覚え、何のためにホームスクーリングをするのかを確認しながら、何とか毎日の生活を過ごしています。これまで歩みの中で、神さまに教えられていることを分かち合わせていただきま

す。

■「知恵ある子どもは賢く使う（ホームスクールとお金の話し）」
辻　奈央子
　最近、子どもを得る前に身に着けておくべき金銭管理は何でしょうか？また、こどもの成長とともに増え続ける教育費にどのように対処してゆけばよいでしょうか？
　聖書の知恵に基づく３つの原則について、我が家の体験談交えてお話しします。中学生以上であればどなたでもご参加いただけます

■「約束の地へ―中島家大移動の証し―」
中島　若樹＆啓子
　ホームスクール 10 年目を迎えたこの春、私たちは三重県桑名市から大阪の能勢町へ引っ越しました。7 人の子供たち（17、14、12、9、7、4、1 才）と、賛美とみことばと祈りで始まる毎日を過ごしています。家族での賛美を交え、私たちのホームクールの課題と祝福を分かち合います。

■「ホームスクーリングにちりばめられた主の恵み一那須家ＨＳ 11 年目、後半戦に突入一」
那須　清志＆百合美
　2004 年 4 月より始まったホームスクーリングも 11 年目になりました。長男（22 歳）は大学生、長女（20 歳）は看護学生 3 年生、次女（18 歳）は昨年の 7 月からアメリカに留学し、学びの中心はホーム外へ。次男（16 歳）は高校認定試験を終え、大学入試に向けて方向を定め、三女（14 歳）も置かれたフィールドで主に仕えようとしています。ＨＳ後半戦と言えども、家族としてなすべきことは益々増える一方です。
　11 年間、穏やかな時ばかりではなく、嵐に見舞われる時もありました。しかし、今振り返れば、いつも主の守りがあり、訓練の時、主の恵みの時であったことがわかります。ＨＳの醍醐味を共に味わいましょう。

■「すべてを良きにしてくださる」
馬場　豊
　私は２５才の時、宣教のため、ラオスに向かいました。２８才の時結婚し、実子は６人、養子６人が、与えられました。養子４人は日本から、２人はタイ国から、与えられました。６人とも男の子です。子供たちはチア・にっぽんの皆様方と同じく、バンコクでホースクーリングをさせていただき、大きくなってから１２人のうち９人が主のあとに従ったのですが、あとの３人はこの世の道に帰っていきました。８人が、それぞれタイ、カンボジアとビルマに残すことができましたことを、主に深く感謝しております。
　今年の３月中旬、５５年ぶりにタイ国から日本へかえってきました。ラオスで生まれた今年５２才の長男義行（よしゆき）を連れて帰ってまいりました。彼は、３才で知能の成長が止まり、その後、癲癇の発作がしばしば起こり、３０才になった頃、脳に腫瘍ができてバンコクの病院で緊急手術を受けました。日本の病院の診断では重度障害者であることが分り、手当を受けることになりました。一生、癲癇の薬を飲み続けなくてはならないのですが、主がどんな時にもすべてを良きにして下さり、良き導き手を差し伸べて下さっていることを感謝しております。

■「自分より大きな夢を持つ」
ビショップ・ガイ
　日本は世界で自殺が多い国であることは誰もが認める事実です。研究で発見された他の二つの事実があります。まず、日本人は、世界で最も生活満足度が低い国グループの国民です。そして、日本人は世界中で一番、セルフイメージが低い国グループの国民と分類されてます。すなわち、一番自分の可能性を信じていない国民です。自分の可能性を信じていない人は夢を持つことが不可能となります。聖書から自己を正しく理解すると自分より大きな夢を持つことができるようになります。すなわち、神様に作られた目的に出会うことができるようになります。

■　「政治学を楽しく学び、学ばせるために」
ピーター・ブロックソム

■「教会のあり方」
ピリポ・ブローマン
　現在の社会では、多くの教会は神の戒めを捨てて、人間の言い伝えを固く守っています。皆さんと一緒に聖書の言葉を読みながら、具体的な問題点について話したいと思います。

■「世の終わりとイエス様の再臨」
ピリポ・ブローマン
　マタイ 24 章でイエス様はこの世の終わりの前兆について、分かりやすく教えてくださっていますが、今の世界はまさにそのとおりになってきました。
　この分科会で特にイスラエルの国について、そして最後に来る「荒らす憎むべき者」についてお話したいと思います。
　この時代にあってクリスチャンは何を覚悟すべきか、また子どもたちをどのように導くべきか、お話しします。

■「結婚について」
ピリポ・ブローマン
　イエス様の言葉には、「天の御国のために自分から独身者になった者もいる。」とあります。(マタイ 19:11:12) また、Ｉコリント 7 章にも結婚について詳しく書いてあります。
　私は、二十代の頃これらの御言葉を読んで結婚しないことを決めました。私の経験も含め、聖書の言葉に基づいてお話しします。若い兄弟姉妹と、その親御さんたちに参考になればと思います。

■「ホームスクーラーの模範とサポートを目指して―　チア・サポートスクール、５年めへ」
堀井　卓　　チア・サポート・スクール (CSS)
　CSS がスタートし、５年めに向かおうとしています。世田谷校の通学クラスからスタートし、通信クラス、英語オンラインクラス、月曜日のフットサル (セインツ) など全国のホームスクーラーのサポートを目指しています。
　2015 年 4 月から、特訓・英語資格取得クラス (英検、TOEFL、TOEIC 等) の準備も進めています。各クラスの案内、授業風景ビデオ、質疑応答、また個別のご相談もお受けいたします。
チア・サポート・スクールのビジョン
1. チャーチ & ホームスクーラーの助け。
2. 学力、実力、資格取得のサポート。
3. キリストの弟子の心を育てる。伝道・世界宣教の目的達成への学業、実技面でのヘルプ。

■「６人の子どもを主に捧げたいと走って１０年めー山あり、谷あり、何でも Q&A です」
マタイ＆愛子　ブローマン
　愛子との結婚に導かれて、10 年が経ち、その間 6 人の子どもたちに恵まれました。日本全国を伝道者として周りながらも、夫として、父親として、妻は家で子どもたちを養い育てながら、妻として、母親として、そして啓明小の教師として、毎日フル回転です。この 10 年、主に従い、伝道者として生きる子供たちを主にお捧げしたい一心で、6 人の子供たちをしつけ、育ててきました。でも、山あり、谷ありの歩みで、神さまに教えられ続けています。ざっくばらんに分かち合い、皆様からのご質問にもお答えしたいと思います。

■「ああ麗しきかな、ホームスクーリング 11 年～チーム松岡物語～」
松岡淳裕
　2004 年 4 月「ホームスクーリング」スタート。2009 年秋、基 11 歳、恵悟 9 歳、この二人でコンプリートを目指すのかと思っていたら、10 年ぶりに妻が身ごもる。2010 年三男「正心良」誕生。2013 年四男「裕貴」誕生。(祝福の) 基 / アブラハム〔創 12:2〕から起こり、恵悟 / ヨセフ (神の恵みを悟る)〔創 50:20〕によって発展し、正心良 / 正しい良心の神への誓い〔Ｉペテロ 3:21〕によって新たな展開となり、裕貴 / 高貴な人〔イザヤ 32:8〕で完結へと向かうのか (？) ホームスクーリングの麗しさとその奥深さを “チーム松岡物語” 的にお分かち出来ればと思っています。
＜松岡みぎわ＞
　なんにもしない（できない）HS。なのにそれすら HS。私が神にどう応答しながら生きているかを見せる（見られる）しかない HS です。上二人のこと（毎日の過ごし方、インターネット、友だち、

農業、スポーツ)、下二人のこと（怒らせないのが秘訣、テレビ DVD、本読み）など、やって良かったことや NG なども含めて、松岡家のちょこっと詳細 HS を紹介します。

■「生涯倍加する弟子作り —2 テモテ 2：2—」
森山 剛＆有佳子
　伝道者として若い人たちと関わっていく中で、ホームスクールされている子供たちとのギャップが浮き彫りにされてきており、子供達を主の教育によってホームスクールしてことの大切さ、重要性を強く感じさせられています。「スパンク、弟子訓練、親の模範、忠実な心を育てること、ホームスクールのゴールは？ (大学に入ることがゴールではない！)・・・」などについて、今回は特に父親と子供たちとの関わりを中心に、また毎週行なっているフェィスタイムについてもお分かちしたいと思います。

■「子育ての勘所：7 つのポイント」
森脇弘隆
　小児科医として 20 年以上、毎月千人以上の子どもたちを診てきました。そして二人の子どもたちをホームスクーリング中です。そのような中で導かれた ‘聖書に基づく子育ての勘所：７つのポイント’ を話します。特に低学年までの乳幼児をお持ちのご両親が、夫婦で参加されると、日々の子育てのヒントになるかもしれません。笑えます！泣かせます！！ハンカチをお忘れなく。

■「神様はプロデューサー〜わが家の場合」
山上　英樹＆須美
　わが家は３男２女の子どもたちと夫婦の７人家族。ホームスクーリングも、綿密に計画を練って進めるというより、いつも神様に聞きながら試行錯誤しているというのが現実です。この分科会では、前半は父親の立場から、ホームスクーリングの恵みを分かち合いたいと思います。後半は母親の視点から、日々子どもたちとかかわる中から、感じさせられたことをお話しします。また、これまで出席した分科会の中でいただいたヒントや、学校とのかかわり、チャーチスクールの恵みについてお話ししたいと思います。

■「花嫁の備え、チャーチ＆ホームスクール」
山川　高平＆久子
　クリスチャンとしての歩みにおいて、聖書からインスピレーションを受け、世の中、生活の中に「適応」させ発展させたミニストリーや教育というものがあります。しかしどんな教育方法も教会のミニストリー、伝道方法も、心臓部分があります。その心臓部分が鼓動をうっていなければ、働きや教育が一人歩きし、いつのまにか心臓部分より大切になってしまう事があります。その心臓部分、つまり主を慕い求め続けるというシンプルな礼拝生活、再臨の主を待ち望む待望生活、そして宣教。花婿イエス様をお迎えする為の、花嫁修業です。この使命を喜びつつ果たすことにフォーカスを当てることからチャーチ＆ホームスクールの喜びを味わいたいと思います。

■　「チャーチ＆ホームスクール９年目〜祈りの祭壇を築く時〜」
山川哲平＆真紀子
J ミッションインターナショナルスクール
ハレルヤミュージック代表
　チア・にっぽんと出会い、ホームスクールベースのチャーチ＆ホームスクールに導かれて９年目。現在は、8 人の子供達（咲良、心、臨歌、夢、契、美波、礼、花香）と、合計４家族中心で英語中心のＣ＆Ｈをしています。１０月２６日に８人目の花香ちゃん誕生。形にとらわれないで、聖霊に導かれるままにスクーリングを進めています。今回は、祈りの祭壇を築くことと、ホームスクールについて、実体験を踏まえて証しできたらと願っています。また、「チャーチ＆ホームスクールの祝福と落とし穴」、「夫婦関係」等もその時の導きで分かち合いたいと思います。
　主を求めることが問題の解決です。それこそが、家族円満の秘訣。子育ても、教会も、経済、ミニストリー祝福の鍵も、祈ることにあります。祈りの祭壇を築く時に、大きな祝福を体験します。チャーチ＆ホームスクールは日本、世界のリバイバルの備えとなるでしょう。

「桑谷美穂さんニュース」を受けて

先月、ニュースレター147号での桑谷美穂事務局長の「チア卒業＆新たな歩みへ」の第一報を受けて、多くのコメントや記念品等がチア事務局に届けられました。その一部を紹介しますね。第二報となるマガジン41号では、その後も、チアの新しい書籍出版プロジェクトほか、引き続き手伝ってくださっている旨、書けていますが、下記のコメントは、まだ、その部分をお伝えできていない第一報を受けてのお手紙等です。10年半に渡って身を尽くしてくれた美穂さんへのあたたかい励まし等、心から感謝いたします。

◇桑谷美穂さんが辞められるニュース、大きなショックでした。今まで安心して、頼りきっていた美んの存在は大きく、正直悲しく、辛いです。でも、美穂さんの今後の祝福をお祈りし、休息もとっていただきたいとも思います。そして、チアに違うかたちで戻ってきていただきたいです。祝福を心から祈っています。（A さん）

◇桑谷さんの事は、正直、驚きと悲しみの気持ちと感謝でいっぱいですが、やはり、いつも励ましてくださり、一緒の空間（チアの行事）にいて当たり前だった存在なので、とても悲しいです。（B さん・16 歳）

◇桑谷さんが退かれると聞いてびっくりしました。美穂さん、今までかげにひなたに、私たちホームスクーラーを支えてくださってありがとうございました。激務だとお聞きしながら、とりなしの祈りがたりなくてごめんなさい。新しいスタートを祝福してお祈りします。（Ｃさん）

◇みほさんへ。今回、サマーキャンプ、オリンピックでもみほさんに会えなくてさみしいです（泣）。今まで、本当にたくさんの事を教え、ささえてくださって、ありがとうございました。みほさんのことが大好きです♡会いたいです！ステキな笑顔、見せて下さい＊＊（^^ ♪（D さん・17 歳）

◇ニュースレターを読んで桑谷さんがチアを卒業することを知りました。さびしい思いがいっぱいで何を書けばいいのかわからないのですが。一言お礼を言いたくてメールしました。本当に犠牲をたくさんたくさん払って下さった毎日だったことと思います。

今年のコンベンションは特に疲れておられるなあと気になっていました。しばらくゆっくりして体も心も霊も休めてあげてくださいね。ゆっくりできたら大阪にも遊びにいらしてください。関西のみんなで歓迎します！うちで良ければいつでも泊まってくださいね。関空ならすぐ迎えにいきますから。これまでの大きな働きに本当に感謝しています。今後の導きを心からお祈りしています。お元気でお過ごしください。神様の豊かな祝福をお祈りしています。（E さん）

◇夏のキャンプでは娘の知恵たちが大変お世話になりました。たくさんのお祈りとご配慮に感謝でした。

桑谷さんの記事を読みました。ものすごく残念でさみしいです。でも、事務局を離れ、一般メンバーとして、どこかでお会いできる時に、ゆっくりとお話ができるのを楽しみにしております。

後を引き継ぐ方々はしばらく大変な時を迎えられると想像します。お祈りに覚えています。これからも変わらず、いえ、新しく、よろしくお願いいたします。詩篇２３（F さん）

◇ニュースレターで、桑谷美穂さんのチア卒業、という記事を読みました。私は、今年の大阪でのコンベンションでたった一度だけお会いしたのすが、コンベンションの前からもメールでのやりとりで励ましいただいたことなどもあったせいか、何だかずっと知っていたような、そしてこれからもチアにメールをすればいつもメールでお話しすることもでき、またいつかチアのイベント

などで、会えるだろう…と思っていました。コンベンションの忙しい中にも声を掛けていただいたお気遣いとやさしさ、美穂さんの表情が輝いておられたことが、とても印象的です。献身的に働いていらっしゃる様子もよく伺えました。これからは簡単にお会いすることはないかもしれず、淋しいですが、どこにおられても主のみ手が導き、守られ、たくさんの祝福がありますように。これまで、チアのお仕事を通して、たくさんの方々を励まされてこられたことでしょう。私もその一人です。十年半、本当にお疲れ様でした。感謝を込めて

P.S. 今年のゴールデンウィークに神奈川から家族で遊びに来てくれたクリスチャンの友達が、我が家の子ども達が従順でびっくりしたということで（私としては？という感じですが)、真剣にホームスクールについて考え、祈っています。教会のセルグループの祈祷課題に、その友達が出したところ、否定的な意見ばかりだったということで、落ち込んでいるようです。こんな私たちを主が用いてくださって、友達とその家族に働きかけておられることを思うと、ただ主を崇めます。この友達と家族が、主の導きでHSを始められるように、慰めがあるよう、祈っていただけるとうれしいです。（白馬か次のコンベンションに誘っていますが、参加できますように。）（Gさん）

◇ 桑谷さんがチアをやめられるというメールを受けとってから、なぜだろう、という想いがあったので、記事を読ませていただいて良かったです。あれほどの人材を送りだされた稲葉さんの勇気と愛の決断を想います。主が今後もチアと桑谷さんの主イエスさまとの歩みに、さらなる祝福がまし加わりますように、お祈りいたします。感謝しつつ（慶応大学経済学部・大垣昌夫　教授）

◇ 桑谷様の記事を読んで、どれだけ皆様が桑谷様を慕って頼りにし、そして愛情を受けてこられたかよく理解できました。慶応大学の実験のご協力をきっかけに、３年半にわたりこれまで桑谷様から数々のご厚意を受けてきた私も全く同じ気持ちです。これからの桑谷様に大いなる恵みのあることを心からお祈りいたします。（慶応大学経済学部・赤林　英夫　教授）

◇ 最新のニュースレターを読んで、思わず声を上げてしまいました。美穂さんがチアの働きから離れられるなんて…。おそらく日本中のホームスクーラーたちがショックを受けたと思います。

私がユダヤ人の男性なら、服を引き裂いて灰をかぶったでしょう。私が『ホームスクール』ということばも知らない時代から、この力強い主の働きについて、全力を尽くされていた美穂さんのお働きに、心から感謝します。

我が家は、ホームスクールに踏み出す前、美穂さんの祝１０周年サプライズ（のはずだった）パーティーに参加し、美穂さんを通して、最後の一押しを頂きました。どんな時も笑顔で励まして下さった美穂さんに心から感謝しています。

4月から半年、うちの子どもたちの変化には驚くばかりです。時間がかかったけれど、ホームスクールに踏み出せたのは、美穂さんはじめチアのスタッフの皆さんが、いつまでも決断できない私たちのことを、神の家族の愛を持って受け入れていて下さってたからです。また、コンベンションや白馬セミナーを通して、私たちの育児への考え方も変えられました。チアに出会えたことが、過去10年の中でのもっとも大きな恵みだと思います。美穂さんへの感謝をこめて。（Hさん）

サマー・キャンプ 2014 アンケート Part.2

＊＊＊＊大　人　編＊＊＊＊

★すばらしかったです。新しい気持ちで、もう一度再出発します。明泉の皆さま、LIT の皆さま、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。引き続き、交わりをお願いします。（千葉　田中七重）

★久しぶりのサマーキャンプ参加でした。子供たちは、今回は一緒に参加できませんでした。白馬は一緒にきたいと思っています。チアのスタッフの方々、そして美穂さんいつもありがとうございます。（栃木　A さん）

★よかった。ウォーターファイト、乗馬、滝つぼ遊び、啓明小、クラフト作り、花火、バーベキュー、運動会、聖書のお話、みんなよかった。ホームスクーリングを続けるように勇気づけられる。LIT の皆さまの働きぶりを見て、日本と世界の将来に光を見いだしました。

　これからもサマーキャンプを続けて欲しいです。スタッフの皆さま、LIT の皆さま、ありがとうございました。（山形　高倉新喜）

★赤津ファミリーの４人のお子様達がとても素直に伸びやかに育っているのを拝見し、このサマーキャンプに参加させて頂き、皆様が同じようにすばらしい子育てをされていることを目の当たりにし、大きな驚きと発見の３日間でした。

　ホームスクールは神様から与えられた。ある意味とてもナチュラルな教育法であると認識できました。６歳の息子も「LIT になりたい」と言っていたほど、リーダーの方々の働きやイベントの段取りの良さ、スタッフのあたたかい、細かい心遣いにも大きな感動を覚えました。親子共に楽しみ、視野を広げることのできた、すばらしいキャンプでした。ありがとうございました。

　今回のキャンプの話を友人にしますと、ほとんどの人がノンクリスチャンでも興味を持ちます。明泉学園の施設と環境も、すばらしかったです。聖書の看板を作っているチームでいらっしゃるということも、大変興味深いことです。全て神様からの贈り物であることを思うと、多くの人に知らせたい気持ちです。（東京　渡辺弘恵）

★家族全員で参加することができたことが良かった。準備や働きがすばらしかった。チア・明泉スタ

ダビデのごとく、ウォーターバルーン飛ばし！
８０m余り、飛びます！　―　チア・キャンプにて

ッフの方々、お疲れ様でした。感謝します。（藤原俊樹）

★初めての参加でした。今までビデオや写真で見ていた場所やイベントに実際に行って体験できて感動でした。何よりピリポさんをはじめ明泉幼稚園の皆さんが心をこめてウェルカムしてもてなしてくださったことに感動しました。夜、ゆっくりコーヒーを飲みながらお話できるのもキャンプならではの恵みですね。すばらしいキャンプをありがとうございました。（藤原樹里）

駆けぬける、ウォータースポンジ駅伝！　サマーキャンプにて

★初めてのキャンプでしたが、期待をはるかに上回り、娘も私たちも大変有意義な時間となりました。稲葉さんを初め、チアのスタッフ、丸森の皆様、LIT の人たちの愛のある献身的な奉仕に大変感謝しております。また、会場である明泉をお借りできることも大変な恵みだと感謝しています。また、チアの皆様と交わりの中で、いろいろな発見があり、戒めがあり、励ましがあり、力をいただきました。ホームスクールに対して不安や迷いがありましたが、徐々にそれが希望と確信に変わり始めています。本当にありがとうございました。（千葉　B さん）

★書ききれない恵みと丸森の大先輩との出会い。１人親や、祖父母の方へのチャレンジを見聞きして、主の計画やコーリングに、恐れを感じました。こんな私達さえ、必要とされ、親も共に主の前に教え導いて下さる恵みに、感動･･･。大宣教命令に従ってきた先輩からバトンをつなぐ使命を真剣に受け取っていかなきゃ。って感じです。あらためて、スタッフの労苦（チア、丸森の方！の愛と忍耐･体力･時間！）は主からのあわれみ・恵みで感謝です。（大阪　C さん）

★とてもよく準備されていて本当に楽しかったです。今回は初めて大人のティータイムに参加できて、さらに充実しました。こちらに来る時の祈りに対する神様からの答えをいただきました。（山本智子）

★初参加でしたが、子供がリラックス、とても、よかったです。時間がゆったりしていたのも良かったです。丸森の方々、チアの方々には感謝です。（大阪　D さん）

★参加者全員元気に楽しく活動していて、その姿を見て元気をもらいました。ティーンがたくさんいて、たくさん仕えていてとても素晴らしいことだと思いました。（東京都　E さん）

＊＊LIT ＆こども編＊＊

★今回も LIT としての参加でした。とても刺激的で楽しく働けたキャンプでした。来年も楽しみです！（松岡基　１６歳）

★とっても楽しかったです。ユースのための十三男さんの聖書の話、また、キャンプや LIT のためのピリポさんや、稲葉さん、ナタンさん、テモテさん、馬場さん達の聖書の話も聞くことができ、本当に感謝しています！（大阪　谷畠しおん　１３歳）

★たのしかった（岡山　森清花　１０歳）

★ぜんぶ楽しかった（ともき）

★乗馬が楽しかったです。ウォーターバトルも楽しかったです。（ふじわら　ゆきや　８歳）

アメリカへのバレエ留学と伝道とホームスクーリングの恵み
井上こづえ

「バレエ "Deliver Us!"（出エジプトの話からイエス様が本当の Deliverer だという話につながります）」

山形県でホームスクーリングで育った井上こづえさん（２１才）。先のコンベンションでは、得意の英語の訓練も含めて、ボランティアを立候補。アメリカからの講師陣のもてなし役と、通訳見習いをしてくれました。この夏、クリスチャンのバレエ団への４週間の留学に加え、コンベンションでもてなしたジム＆カレン夫妻に招かれて３週間のホームスティのプレゼントがあり、レポートを送ってくれました。

その後、お元気ですか。約２ケ月のアメリカ滞在、守られ、祝福されてとても感謝でした。お祈りありがとうございました！初めてのアメリカだったのでちょっと不安もあったのですが、広いアメリカでよくぞここを選んで導いてくださったと驚くほど、私に最適な学びの場所でした！ホームスクーリングの恵みを改めてかみしめています。

最初は、400 人ものユースが集まるクリスチャンのバレエ夏期講習（ミシシッピ州ジャクソン、４週間）。半数に近い割合でホームスクーラー、更にみんな信仰がきちんと育てられていて、モラル的にも、信仰的にも素晴らしく、とても安心していられました。グループごとカウンセラーがいて、一緒に生活しながら、将来の事、バレエのこと、信仰のこと、何でも相談ができました。ホームスクールの背景のためか、とてもなじみ、よい友達がたくさん与えられました。何より主催のバレエ団が、伝道にすごくフォーカスを当てて活動しているのが驚きました。伝わってくるメッセージがストレートに「イエスさまの救い」なんです。聖書を題材にした話をバレエにして、全米、また世界をツアーしながら伝道していて、その働きに感動しました。

更に、ジムさん、カレンさんのお家（ペンシルベニア州）で３週間ホームスティ。お二人にアドヴァイスを頂きながら、進路をじっくり考えることができました。毎朝カレンさんとディボーションの時をもっていました ^^ お二人にとても感謝です。ジムさんたちの助けで、進路を考えていた大学から奨学金のオファーもきていたのですが、バレエ団のイエスさまへの献身の姿勢に感動していたので、とても悩みました。最終的に、ジムさんのお宅での最後の日に、バレエ団から、「2015 の秋学期から、バレエ団の研修生として受け入れます」とのメールを頂きました。アメリカ人は２回のオーディションを受けなければ入れない狭き門なのですが、海外から、バレエを通して伝道したいという熱意を持って来たことを汲んでくださってのOKだったのだと思います。ホームスクールを両親が始めてくれたこと、Dream カナダで５ケ月間、英語を学んだこと、タイの丸森の皆さんの伝道チームにて、半年間、訓練していただき、伝道に人生を捧げようと決断できたこと、そしてバレエを、主はミニストリーの形で用いてくださったこと・・・振り返ると必要なものがすべて備えられていたんだな・・・と思います。主の導きは不思議で素晴らしいですね。

「クリスチャンバレリーナの皆さんと共に（半数以上がホームスクーラー）」

白馬への仕事のオファー、ありがとうございます。パワーポイントの翻訳、ぜひやらせてください！いつでも送っていただいて OK です。白馬の準備が守られ、皆さん、お一人お一人が豊かに祝福されますように！

井上　こづえ

チア・にっぽん カレンダー

●白馬セミナー 2014
・11 月 20 日（木）-22 日（土）
◆ホテル・グリーンプラザ白馬（長野）

●第 18 回 Dream Canada 5ヶ月ホームスティ in カナダ
・2015 年 2 月～ 7 月予定

●第 2 回 チア・ジョイ・ランニング ワンデークリニック
・2015 年 4 月上旬

●チア・コンベンション 2015
・大阪 2015 年 6 月 5 日（金）、6 日（土）
・東京 2015 年 6 月 12 日（金）、13 日（土）

★コンベンション講演・分科会 CD・DVD ★

83 講演を収録したコンベンション講演 DVD（PC 用・mp3 版）には、特典としてジム＆カレン・ストーバー夫妻、ジョイス・イノウエさんらの講演のパワーポイントデータも入っています。お申込みは、チアホームページ、またはチア事務局へ！ 定価 6800 円（税込）。

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5 判・307P
定価：本体 2,000 円＋税

柏崎良子医師のマリヤ・クリニックにおける治療を、
症例、検査の意味と意義、治療法、
発達障害になる原因分析、
治療の手順など詳細に記載しています。

好 評 発 売 中

＜本の内容＞
序文. 発達障害や精神障害の治療を願って
Ⅰ. 発達障害から良くなった子供たち
Ⅱ. どのように治療をするのか
　A. 治療の枠組みと方法
　B. 発達障害についての私たちの立場
　C. 発達障害の治療への取り組み
　D. 治療方法の説明
Ⅲ. 治療に必要な知識や理論
　A. 身体の形成と栄養の補給
　B. 障害への対応の基礎知識
Ⅳ. 統計、よくある質問、索引
　A. 発達障害検査統計
　B. よくある質問

お問合せ：株式会社ヨーゼフ
Tel：043-207-6035 Fax：043-207-6036
メール：info@yozeph.com ホームページ：http://yozeph.com

【７月会計】

収入	
献金	979,130
書籍・教科書	58,434
会費	164,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	101,280
その他	21,749
	1,354,593
支出	
事務局経費	1,189,557
通信運搬費	44,779
交通費	21,100
DVD ＆商品仕入費	14,464
	1,269,900
残高	84,693
前期繰越	-170,170
翌期繰越	-85,477

【８月会計】

収入	
献金	2,052,145
書籍・教科書	211,702
会費	46,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	24,176
その他	83,630
	2,447,653
支出	
事務局経費	1,841,263
通信運搬費	51,055
交通費	36,209
印刷費	313,350
DVD ＆商品仕入費	57,024
	2,298,901
残高	148,752
前期繰越	-85,477
翌期繰越	63,275

☆尊い献金、会費の送金を、
心から感謝いたします。

CheaJapan

チア・にっぽん事務局
〒 189－0013 東京都東村山市栄町 1-5-4-103
TEL 042-318-1807 メール対応 FAX 03-6862-8648
メール office@cheajapan.com